

【別紙 2】

イルカとアシカの共演ショーについて

テーマを「リトミックス」とし、“リトミック”の持つ意味（音やリズムに合わせて体を動かし楽しながらリズム感や身体能力を育むための音楽教育法）と、ショーの中で動物の音や流れる音楽、観客の手拍子などを融合（ミックス）させる。プレゼン形式で行い、「音」を主軸にショーを展開すると共に、動物たちの能力を紹介し教育的な内容を盛り込みつつ、観客も参加してもらい体を動かしながら動物・観客・トレーナーが一体となり1つのショーを創り上げる。

記

テーマ(タイトル)：海響リトミックス～音を通じて1つになろう～（仮）

内容：

- ① 「イルカの出す音」
イルカの鳴く音を紹介し水中で様々な音を使ってコミュニケーションをとっていることを説明する。
- ② 「トレーナーの使う音（動物とトレーナーのコミュニケーション）」
トレーナーが動物とコミュニケーションを取る際に、笛の音を使っていること、様々な合図を使っていることを説明する。
- ③ 「観客とイルカのコミュニケーション」
観客にイルカに合図を出してもらいイルカとのコミュニケーションを体感してもらう。
- ④ 「観客とイルカ、トレーナーが一体となるセッション」
リズムカルな曲に観客を連動させ、イルカのパフォーマンスを行う。
- ⑤ 「アシカの出す音（鳴き声）」
アシカの親子が鳴き声を使ってコミュニケーションを取っていること、リズムに合わせてアシカの名前を呼び、アシカがそれに答えることで、アシカの聞き分ける能力について説明する。
- ⑥ 「イルカとアシカのセッション」
イルカとアシカが双方で合図を出しパフォーマンスを行う“イルアシコラボ”の固有名詞を、今回は『イルアシミックス』（ショータイトルの「リトミックス」にかけて）とし、リズムカルな曲に合わせてパフォーマンスを行う。
- ⑦ 「ジャンプメドレー」
イルカとアシカの連続パフォーマンスを行う。